

Oracle® Applications

リリース・ノート

リリース 12

部品番号 : E05070-02

原典情報 : B31570-01 Oracle Applications Release Notes, Release 12

2007 年 7 月

このリリース・ノートは、『Oracle Applications インストレーション・ガイド: Rapid Install の使用方法』および『Oracle Applications Upgrade Guide: Release 11i to Release 12』に記載されている情報を補完するものであり、Oracle Applications をインストールまたはアップグレードしているすべてのお客様を対象としています。このリリース・ノートの内容は次のとおりです。

- [すべてのお客様への注意事項](#)
- [新規にインストールするお客様への注意事項](#)
- [アップグレードするお客様への注意事項](#)
- [ドキュメントの訂正](#)
- [既知の問題に対する解決策](#)
- [デスクトップ・クライアント認証](#)
- [現在の改訂ログ](#)
- [ドキュメントのアクセシビリティについて](#)
- [サポートおよびサービス](#)

すべてのお客様への注意事項

このリリース・ノートに記載されている内容の他に、ご使用のプラットフォーム用の『Oracle Applications インストール・およびアップグレード・ノート』および該当する場合は『Oracle Applications NLS リリース・ノート』を読み、内容を理解する必要があります。これらすべてのドキュメントは、変更がある場合は週単位で更新されています。システムのインストールまたはアップグレードを行う前に、最新版を入手していることを確認してください。

追加情報： ドキュメント・リソースの一覧は、『Oracle Applications Documentation Resources, Release 12』（Doc ID: 394692.1）を参照してください。

Release Update Pack 12.0.1（RUP1）

12.0.1 Release Update Pack（RUP1）は、既存のリリース 12.0 システムについてエラー修正を提供するために作成された、十分にテストが実施された単一の高品質パッチです。『Oracle E-Business Suite 12.0.1 Release Update Pack Readme』（Doc ID: 417917.1）では、このパッチの適用に関する情報、ならびに製品ファミリ・パッチに関する情報へのリンクが提供されています。

Rapid Install の現行バージョン

Rapid Install ウィザードの最新バージョンは 12.0.0.22 です。このバージョンを取得するには、Oracle MetaLink で入手できるパッチ 5885627 を適用します。現行バージョンを確認するには、Start Here DVD の rapidwiz ディレクトリにある実行可能ファイル RapidWizVersion を使用します。次に例を示します。

UNIX:

```
$ cd /Stage12/startCD/Disk1/rapidwiz
$ ./RapidWizVersion
```

Windows:

```
C:\> H:
H:\> cd Stage12\startCD\Disk1\rapidwiz
H:\> RapidWizVersion.cmd
```

Start Here DVD を更新するには、主要ステージング領域でパッチを解凍し、startCD ディレクトリを上書きします。次に例を示します。

UNIX:

```
$ cd /Stage12
$ unzip -o p5885627_R12_GENERIC.zip
```

Windows:

```
C:\> H:
H:\> cd Stage12
H:\> unzip -o p5885627_R12_GENERIC.zip
```

電子ダウンロード

DVD から Rapid Install ソフトウェアをインストールするかわりに、Oracle Electronic Delivery を使用できます。オラクル社と交わした契約に、ご使用のシステムで電子ダウンロードが可能であることが明記されている場合、ダウンロードおよびステージングに関する指示は、Oracle MetaLink（Doc ID: 406138.1）を参照してください。

クライアント・インストール用のメディア

クライアント・インストール製品は、クライアント・ウィザード・ツールを使用して、Start Here DVD から直接インストールされます。製品は次のとおりです。

- Balanced Scorecard (6.0)
- Workflow Embedded (2.6.3)
- XML Publisher (10.1.3.2)

これらの製品をインストールするには、クライアント・ウィザード・コマンド (clientwiz.cmd) を使用して、「Install Client-specific Software」の画面にアクセスします。製品リストからクライアント製品を選択して「Install」をクリックします。

AD 管理「Files」メニューの変更点

AD 管理メニュー・オプション「Create Applications environment file」および「Create or Update Applications environment subkey in registry」は無効になり、「Maintain Applications Files」メニューから削除されました。

スナップショットの作成

インストールまたはアップグレードの完了後、AD 管理の「Maintain Snapshot」オプションを実行します。

1. AD 管理 (adadmin) を実行します。
2. 「Main」メニューから、「Maintain Applications Files」->「Maintain Snapshot Information」を選択します。
3. オプション 2 「Update Current View Snapshot」を選択します。続いて、「Snapshot」サブメニューからオプション 1 「Update Complete APPL_TOP」を選択します。

追加情報： スナップショットの詳細は、『Oracle Applications Documentation Resources, Release 12』 (Doc ID: 394692.1) の Oracle Applications の保守手順に関する項を参照してください。

追加の構成および配置オプション

E-Business Suite リリース 12 で提供されている AutoConfig ユーティリティは、様々な配置オプションを自動化します。初期リリースでは、これらのオプションを実装するには、追加の手動ステップまたは追加パッチのインストールが必要となる場合があります。次の配置オプションのいずれかを使用する場合、『Oracle E-Business Suite Release 12 Support for Additional Configuration & Deployment Options』 (Doc ID: 380483.1) で詳細を参照してください。

- ハードウェアベースのロードバランシング・ルーター
- Secure Socket Layer (SSL)
- 非武装地帯 (DMZ) およびリバース・プロキシ
- 同一の E-Business Suite 環境に対する複数ドメイン名の割当て
- シングル・サインオン、Oracle Internet Directory、Portal、Discoverer を含む Oracle Application Server 10g との統合
- Real Application Clusters (RAC) および自動ストレージ管理 (ASM)

Test Starter Kit

Test Starter Kit には、Oracle E-Business Suite のテストに使用する Mercury Interactive Test Automation Tools 用の『Best Practices Guide』、インストール・ガイド、Oracle E-Business Suite のテストに使用するパッチ、『Test Director Installation Guide』など、すべてのドキュメントが含まれています。テスト・スクリプトは、Oracle QA が設計し、テスト・スイート固有のポートフォリオを構築するためのモデルを提供しています。

Test Starter Kit は、OracleMetaLink (Doc ID: 239746.1) から入手可能です。

新規にインストールするお客様への注意事項

『Oracle Applications インストール・ガイド: Rapid Install の使用方法』の情報およびこの項に記載する指示の他に、「[ドキュメントの訂正](#)」の項を必ず確認してください。リリース以降に利用可能になったインストール・ガイドに対する改訂が含まれている場合があります。

License Manager の正しい製品リスト

インストールの完了後、パッチ 5852955 を適用し、Oracle Applications Manager の License Manager コンポーネントの使用可能な製品リストを更新します。

複数ノードへのインストール

リリース 12 では、Web Entry Point Services および Web Application Services を同じノードにインストールする必要があります。これら 2 つサービスを異なるノードにインストールする分散アーキテクチャは現在サポートされていません。OC4J クラスタリングを使用した今後の機能拡張によって、同一ノードへのインストールが可能になる予定です。

アップグレードするお客様への注意事項

『Oracle Applications Upgrade Guide: Release 11i to Release 12』の情報およびこの項に記載する指示の他に、「[ドキュメントの訂正](#)」の項を必ず確認してください。リリース以降に利用可能になったアップグレード・ガイドに対する改訂が含まれている場合があります。

Projects のアップグレード前のタスク

Oracle Projects をご使用の場合、OracleMetaLink にある Note 409206.1 の情報を参照してください。ここには、アップグレードを開始する前に必要に応じて実行する、重要なアップグレード前のタスクが記載されています。

ゲスト・ユーザー・パスワードの検証

Oracle Applications のゲスト・ユーザー・パスワードをご存知でない場合は、アップグレード・ステップを開始する前にパスワードを再設定する必要があります。パスワードは、必ず Oracle Applications から更新してください。詳細は、『Oracle Applications システム管理者ガイド - セキュリティ』を参照してください。

メンテナンス・ウィザード

有効な製品サポート契約を交わしているお客様は、メンテナンス・ウィザード（旧名称アップグレード・アシスタンス・プログラム）を使用できます。Oracle サポート・サービスが提供するこのプログラムは、アップグレードを計画および実行する際に役立ち、パッチ計画およびアップグレード・プロジェクトを円滑に進めるプロセスを提供します。

このプログラムの一部は、Oracle E-Business 12 Upgrade Assistant と呼ばれるユーティリティです。ここには『Oracle Applications Upgrade Guide: Release 11i to Release 12』の情報およびその他のアップグレード・リソースがまとめてあるため、秩序だった反復可能なステップによりアップグレードを実行できます。このツールの詳細は、Oracle MetaLink の Doc ID: 215527.1 を参照してください。

ドキュメントの訂正

次のマニュアルの本文に変更があります。

Oracle Applications インストレーション・ガイド: Rapid Install の使用方法

1-2 ページ: 「データベース層とアプリケーション層のサポートに（通常のように）異なるマシンを使用する環境にインストールする場合は」で始まる段落の 4 文目を次のように置き換えてください。

「共有アプリケーション層のファイル・システムを使用する複数ノード環境では、最初にプライマリ・アプリケーション・ノードで Rapid Install を実行する必要があります。非共有アプリケーション層のファイル・システムを使用している場合は、Rapid Install をどのアプリケーション・ノードから実行してもかまいません。いずれの環境でも、アプリケーション・システムの内の 2 つ以上のノードに対して一度に実行することはできません。」

3-29 ページ: 「ステップ 2」のコンテキスト・ファイルの正しい場所は次のとおりです。

`<INST_TOP>/appl/admin/<CONTEXT_NAME>.xml`

記載されている `<APPL_TOP>/admin/<CONTEXT_NAME>.xml` は誤りです。

Oracle Applications Upgrade Guide: Release 11i to Release 12

2-4 ページ: ステップ 3 「Convert to Multiple Organizations Architecture」の最後に次の文を追加してください。

「HRMS users should also see Setting Up Multiple Organizations in Oracle HRMS (Doc ID: 259546.1).」

2-4 ページ: ステップ 4 「Drop event alert triggers in custom schemas」で、`alrdtrig.sql` スクリプトの正しい場所は `$ALR_TOP/admin/sql`（リリース 11i システム内）であり、記載されている `$ALR_TOP/patch/115/sql` は誤りです。

2-6 ページ: ステップ 1 「Verify completion of Sales Compensation processes」の手順を次のように置き換えてください。

「To verify that your Sales Compensation setup data is ready for the upgrade, download and apply patch 4963569 to your Release 11i APPL_TOP. This patch contains `cnupgchki.sql` (located in the first directory in `utl_file_dir`). Run this script manually. It creates a report that tells you what pre-upgrade steps are required. You can also view the information in concatenated format in the AutoPatch log file (`cnupgchki.log`).」

2-15 ページ: ステップ 7 の 1 文目にある「OPM Order Fulfillment」という語を「Order Management」に置き換えてください。

3-7 ページ: ページの上から 3 番目の段落の、「If you use a RAC database...」で始まる文中の「\$APPLTMP」を「\$APPLPTMP」に置き換えてください。

3-7 ページ: 「1. Update the RDBMS ORACLE_HOME file system with AutoConfig files」および「2. Run AutoConfig on the database tier node」の間に次の処理を挿入してください。

「1(a). Generate the context file.

If you are using the 10.2.0.2 ORACLE_HOME from Release 11i, generate a new context file as follows:

- Change the directory to the RDBMS ORACLE_HOME laid out by the Rapid Wizard as part of the Upgrade File System option.

- Clone the context file using this command:

```
<ORACLE_HOME>/appsutil/clone/bin/adclonectx.pl -contextfile=<context file generated by R12 rapidwiz>
```

- Supply the details of the ORACLE_HOME you are using.]

3-7 ページ: 「ステップ 6」のコンテキスト・ファイルの正しい場所は次のとおりです。

<INST_TOP>/appl/admin/<CONTEXT_NAME>.xml

記載されている <APPL_TOP>/admin/<CONTEXT_NAME>.xml は誤りです。

4-19 ページ: ステップ 2 の注意事項「Additional Information」で、「『Oracle Server Technology Administrator's Guide』」を「『Oracle Database Administrator's Guide 10g Release 2 (10.2)』」に置き換えてください。

I-1 ページ: 「Patch List」表の「ML# 396079.1」で始まる行を削除してください。これはパッチを参照していません。

Oracle Applications Maintenance Procedures

1-5 ページ: ページの先頭の「Action」項からステップ 2 「Download and apply patch 4671312...」およびステップ 3 「...run the Maintain Snapshot task from AD Administration...」を削除してください。これらは、Translation Synchronization Patch ユーティリティを使用するために必要なステップではなくなりました。

Oracle Applications Maintenance Utilities

1-2 ページ: コマンド・ライン・ユーティリティをリストした表の「AutoPatch」の後に次の行を追加してください。

「Patch Application Assistant: admsi.pl: Generates customized installation instructions for a patch.」

1-6 ページ: 「Log Files」項の最後の段落に記載されている Rapid Install で作成されるログ・ファイルは、\$INST_TOP/logs および \$INST_TOP/admin/log にあります。AutoConfig ログ・ファイルは \$INST_TOP/admin/log/adconfig.log にあります。

1-7 ページ: 構成ファイルおよび環境ファイルをリストした表で、iAS ORACLE_HOME の <CONTEXT_NAME>.env および <CONTEXT_NAME>.cmd の場所は \$INST_TOP/ora/10.1.3 です。Applications ORACLE_HOME の <CONTEXT_NAME>.env および <CONTEXT_NAME>.cmd の場所は \$INST_TOP/ora/10.1.2 です。

1-23 ページ: 「Accessing OAM」 項のログイン手順を次のように置き換えてください。

「You access OAM from the Oracle Applications login page at:

`http://<server:port>/OA_HTML/AppsLogin`

When the Welcome page appears, enter your name and password. Click Login. The system redirects you to the central login page (the Navigator). From the list of responsibilities, click System Administration. Among the System Administration responsibilities is a section for Oracle Applications Manager. Click one of the utilities in that section, or click Dashboard.

From the Dashboard, you can jump quickly to one of the utilities listed in the Navigate to: menu, or you can click the Site Map tab to see a complete list of utilities.」

Oracle Applications Patching Procedures

2-3 ページ: 「Accessing Patch Wizard」 項の「ステップ 1」 のテキストを次のように置き換えてください。

「1. To log in to OAM, go to the Oracle Applications login page at:

`http://<server:port>/OA_HTML/AppsLogin`

When the Welcome page appears, enter your name and password. Click Login. The system redirects you to the central login page (the Navigator). Click the System Administration responsibility, and then click Dashboard from the Oracle Applications Manager listing. From the OAM Dashboard, click the Site Map tab.」

3-11 ページ: リリース 12.0.1 では `options=prereq` 機能が削除されました。`options=noprereq` 機能はまだ使用されており、引き続きデフォルトの動作です。使用されていない機能が起動された場合、AutoPatch で警告が表示されます。

既知の問題に対する解決策

この項では、リリース 12 のインストールまたはアップグレードに関する問題の解決策を説明します。

高優先度パッチ

リリース 12 のドキュメント・セットに記載されているパッチの他に、非常に重要な追加のパッチがあります。インストールまたはアップグレードを計画する際には、[OracleMetaLink](#) にアクセスし、高優先度の印が付いたリリース 12 パッチを検索してください。検索結果として返された問題が、お客様のインストールおよび使用する予定の製品セットに該当するかどうかを判断してください。該当するパッチをマージして、インストールまたはアップグレードが完了した後に適用してください。

インストールするお客様およびアップグレードするお客様

すべてのお客様は、この項に記載されている内容を実行する必要があります。

取引管理用のシノニムの修正

AD 管理オプションの `Recreate Grants and Synonyms` を実行する場合は、付与とシノニムを再作成した後に次のスクリプトを実行して、シノニムが正しいことを確認してください。

```
sqlplus APPS/<APPS password> @$OZF_TOP/patch/115/sql/ozftmsyn.sql
```

インストールするお客様のみ

この項に記載されている内容は、リリース 12 を初めてインストールするお客様にのみ適用されます。

Oracle Configuration Manager の設定

Oracle Applications の新規インストールで Oracle Configuration Manager の設定を完了するには、データベース層で `installCCRSQL.sh` スクリプトを実行し、いくつかのデータベース・オブジェクトをインストールする必要があります。このスクリプトを実行する前に、『Oracle Configuration Manager and E-Business Suite Release 12 Release Notes』（Doc ID: 406369.1）を参照して詳細を確認してください。

アップグレードするお客様のみ

この項に記載されている内容は、リリース 12 にアップグレードするお客様にのみ適用されます。

iSetup アップグレード実行中のコンカレント要求の失敗

アップグレード中に iSetup R12 Upgrade Selection Sets Column コンカレント・プログラムでエラーが表示された場合は、アップグレード後のステップとして次のことを行ってください。

1. iSetup 職責およびコンカレント・プログラムを実行できる権限でログインします。
2. 「Concurrent Requests」にナビゲートします。
3. iSetup R12 Upgrade Selection Sets Column コンカレント・プログラムを実行するための新規の要求を発行します。

注意： この手順は、iSetup をご使用のお客様がリリース 12 にアップグレードする場合にのみ実行してください。

デスクトップ・クライアント認証

デスクトップ・クライアント・ソフトウェア認証および必要なパッチに関する詳細情報は、Oracle MetaLink から入手できます。このリリースの Oracle Applications では、次のデスクトップ・クライアント・プラットフォームが変更なしでサポートされます。

- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows XP
- Macintosh OS X v10.4

注意： Java プラグインのダウンロードを許可するには、Windows 2000 および Windows XP クライアントに「標準ユーザー」またはそれ以上のアクセス・レベルを定義する必要があります。

推奨されるクライアント構成

ご使用のデスクトップ・クライアントを構成するには、最低限で次の推奨事項があります。

プロセッサ

リリース 12 のパフォーマンスは CPU 速度に影響を受けます。クライアントには 350MHz 以上のプロセッサを使用することをお勧めします。より速いプロセッサ (1.GHz +) を使用すると、パフォーマンスが大幅に改善されます。最小要件で得られるのは最小限のパフォーマンスであることに注意してください。お客様の要件は最小仕様より高いことも考えられます。

メモリー

最適な CPU 速度およびメモリーの容量を検討する際には、オペレーティング・システムの最小要件を考慮してください。Microsoft Windows クライアントには、256MB 以上の RAM をお勧めします。Windows 2000 または Windows XP を使用し、Oracle Applications をその他のデスクトップ・アプリケーションと同時に実行する場合は、メモリーを増やすことでよりよいパフォーマンスを得られます。Apple MAC OS X V10.4 クライアントにも、256MB 以上の RAM をお勧めします。

CPU 速度およびメモリーの容量を検討する際には、オペレーティング・システムの最小要件、同時に実行するその他のソフトウェア、ネットワーク特性などの外部要因を考慮してください。その構成がお客様のビジネス・モデルを維持するための全体的な要件を満たすことを確認してください。お客様の要件は最小仕様より高いことも考えられます。

デスクトップ・クライアント・ブラウザ要件

Oracle Applications リリース 12 で推奨されるブラウザおよびそれを使用するための要件は、OracleMetaLink の Doc ID: 389422.1 に記載されています。

現在の改訂ログ

Oracle Applications リリース・ノートでは、次の項が変更されました。

項のヘッダー	変更内容
2007 年 1 月 24 日	初版
2007 年 2 月 2 日	
すべてのお客様への注意事項	拡張構成の実装に関する情報の追加。
新規にインストールするお客様への注意事項	複数ノードへのインストールに関する注意の追加。
ドキュメントの訂正	『Oracle Applications インストレーション・ガイド』の 1-2 ページに対する修正の追加。
ドキュメントの訂正	『Oracle Applications Upgrade Guide』の付録 I に対する修正の追加。
ドキュメントの訂正	『Oracle Applications Maintenance Utilities』の 1-2 ページに対する修正の追加。
2007 年 2 月 9 日	
すべてのお客様への注意事項	インストールまたはアップグレード後のスナップショットの作成に関する情報の追加。
ドキュメントの訂正	『Oracle Applications Upgrade Guide』の 2-15 ページに対する修正の追加。

項のヘッダー	変更内容
2007 年 2 月 16 日	
すべてのお客様への注意事項	新規バージョンの Rapid Install ウィザード。
ドキュメントの訂正	『Oracle Applications Upgrade Guide』の 2-4 ページに対する修正の追加。
2007 年 3 月 16 日	
すべてのお客様への注意事項	AD 管理「Maintain Applications Files」メニューからのメニュー・オプションの削除。
新規にインストールするお客様への注意事項	OAM License Manager 製品リストに影響するパッチ情報の追加。
2007 年 3 月 30 日	
ドキュメントの訂正	『Oracle Applications Upgrade Guide』の 4-19 ページに対する修正の追加。
2007 年 4 月 5 日	
すべてのお客様への注意事項	新規バージョンの Rapid Install ウィザード。
2007 年 4 月 17 日	
すべてのお客様への注意事項	Release Update Pack 1 (12.0.1) に関する情報。
2007 年 4 月 27 日	
ドキュメントの訂正	アップグレード・マニュアルにおけるサーバー・プロセスの構成および起動に関するステップ 2 の手順を改訂し、新規コンテキスト・ファイルの生成に関する詳細を記載。
2007 年 5 月 11 日	
ドキュメントの訂正	アップグレード・マニュアルおよびパッチ適用手順マニュアルの改訂の追加。
2007 年 5 月 18 日	
ドキュメントの訂正	アップグレード・マニュアルの改訂の追加。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクル社は、障害のあるお客様にもオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメントを簡単にご利用いただけることを目標としています。オラクル社のドキュメントには、ユーザーが障害支援技術を使用して情報を利用できる機能が組み込まれています。HTML 形式のドキュメントで用意されており、障害のあるお客様が簡単にアクセスできるようにマークアップされています。標準規格は改善されつつあります。オラクル社はドキュメントをすべてのお客様がご利用できるように、市場をリードする他の技術ベンダーと積極的に連携して技術的な問題に対応しています。オラクル社のアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト <http://www.oracle.com/accessibility/> を参照してください。

ドキュメント内のサンプル・コードのアクセシビリティについて

スクリーン・リーダーは、ドキュメント内のサンプル・コードを正確に読めない場合があります。コード表記規則では閉じ括弧だけを行に記述する必要があります。しかしスクリーン・リーダーは括弧だけの行を読まない場合があります。

外部 Web サイトのドキュメントのアクセシビリティについて

このドキュメントにはオラクル社およびその関連会社が所有または管理しない Web サイトへのリンクが含まれている場合があります。オラクル社およびその関連会社は、それらの Web サイトのアクセシビリティに関しての評価や言及は行っておりません。

Oracle サポート・サービスへの TTY アクセス

アメリカ国内では、Oracle サポート・サービスへ 24 時間年中無休でテキスト電話 (TTY) アクセスが提供されています。TTY サポートについては、(800)446-2398 にお電話ください。アメリカ国外からは、+1(407)458-2479 にお電話ください。

サポートおよびサービス

次の各項に、各サービスに接続するための URL を記載します。

Oracle サポート・サービス

オラクル製品サポートの購入方法、および Oracle サポート・サービスへの連絡方法の詳細は、次の URL を参照してください。

<http://www.oracle.co.jp/support/>

製品マニュアル

製品のマニュアルは、次の URL にあります。

<http://otn.oracle.co.jp/document/>

研修およびトレーニング

研修に関する情報とスケジュールは、次の URL で入手できます。

<http://www.oracle.co.jp/education/>

その他の情報

オラクル製品やサービスに関するその他の情報については、次の URL から参照してください。

<http://www.oracle.co.jp>

<http://otn.oracle.co.jp>

注意： ドキュメント内に記載されている URL や参照ドキュメントには、Oracle Corporation が提供する英語の情報も含まれています。日本語版の情報については、前述の URL を参照してください。

Oracle Applications リリース・ノート, リリース 12

部品番号 : E05070-02

原本名 : Oracle Applications Release Notes, Release 12

原本部品番号 : B31570-01

Copyright © 2000, 2007, Oracle. All rights reserved.

このプログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります。オラクル社およびその関連会社は、このドキュメントに誤りが無いことの保証は致し兼ねます。これらのプログラムのライセンス契約で許諾されている場合を除き、プログラムを形式、手段（電子的または機械的）、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の注意が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065

このプログラムは、核、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションへの用途を目的としておりません。このプログラムをかかえる目的で使用する際、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万が一かかるプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

Oracle は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

このプログラムは、第三者の Web サイトへリンクし、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。オラクル社およびその関連会社は第三者の Web サイトで提供されるコンテンツについては、一切の責任を負いかねます。当該コンテンツの利用は、お客様の責任になります。第三者の製品またはサービスを購入する場合は、第三者と直接の取引となります。オラクル社およびその関連会社は、第三者の製品およびサービスの品質、契約の履行（製品またはサービスの提供、保証義務を含む）に関しては責任を負いかねます。また、第三者との取引により損失や損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。